



【医学用語解説】

離断性骨軟骨炎と同様、骨・軟骨片の関節遊離体(関節鼠)を生じる病態の1つに骨・軟骨骨折があります。しかしながら離断性骨軟骨炎は基盤に軟骨下骨壊死を起こしやすい状態(素質)が存在すると考えられているのに対して、骨・軟骨骨折は外傷により発生します。代表的な発生部位は膝蓋大腿関節(お皿と太ももとの関節)で、サッカーのキック動作等で膝蓋骨が大腿骨外顆部を乗り越えるときに剥離骨折を起こします。また膝蓋骨(亜)脱臼症候群を有する人も、(亜)脱臼時に同様に剥離骨折を起こすことがあります。これらの人の多くは X 脚傾向で、Q アングルと言って大腿四頭筋と膝蓋腱の角度がきついため起こしやすいと言われています。

関節遊離体(関節鼠)となった骨・軟骨片は内視鏡的に摘出が必要です。